

第 2 5 回吉野川市子ども・子育て会議

開催日	令和 6 年 3 月 1 9 日（火）午前 1 0 時～午前 1 1 時 1 5 分
場 所	吉野川市役所 東館 3 階 2 3 1 会議室
出席者	吉野川市子ども・子育て会議委員 1 2 名、吉野川市 1 0 名

1. 開会

2. 健康福祉部長あいさつ

3. 議事

(1) 令和 5 年度地域子ども・子育て支援事業提供体制等について

令和 5 年度地域子ども・子育て支援事業利用状況等の内容を説明。

(2) 令和 6 年度教育・保育施設の申込状況について

令和 6 年度の市内保育所・認定こども園の申込状況等の内容を説明。

説明内容
<p>○地域子ども・子育て支援事業利用状況等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 5 年度利用状況の報告
<p>○令和 6 年度教育・保育施設の申込状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 6 年度の市内保育所・認定こども園の申込については、特定園を希望している 1 名を除き、市内のいずれかの園に入園することが決定しています。
<p>○令和 6 年度における市内保育所・認定こども園の利用定員の変更について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 6 年度より、鴨島呉郷保育所の閉所及び各地区の状況に応じた見直し調整により、利用状況に即した利用定員に変更します。 2 号認定を 3 3 名減、3 号認定（0 歳児）を 9 名減、3 号認定（1・2 歳児）を 2 9 名減とし、全体で 7 1 名減といたします。

(3) その他

説明内容
<p>○令和 6 年度子ども・子育て会議について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次期計画「第 3 期子ども・子育て支援事業計画」の策定年度となることから、本会議は計画の策定会議となります。第 1 回会議（7 月頃を予定／ニーズ調査の集計・分析結果報告等）を含めて 4 回程度の開催を予定しています。

出席者からの質問・意見等

質問：説明の中で、放課後児童クラブが児童にとって安心安全な居場所の提供といわれていましたが、果たして本当にそうなのか、現在自分の子どもを預けていますが、とてもそうは感じられません。ハード面、ソフト面ともに改善が必要だと思われます。今後の対応等についてお考えを伺いたいと思います。

回答：ハード面については点検を行い、またソフト面については、コロナ禍で中止となっていた職員の接遇に関わる研修を改めて実施するなど、安心してお子さんを預けていただけるよう努めて参ります。

質問：児童館が0歳児から18歳までの児童が利用対象の施設であるということについて、十分な周知がなされていないと感じています。一般の方はもとより、教育関係者や学校関係者なども知らないことが多いです。例えば、中学生が利用してもいいということがほとんど知られていないことについてはいかがですか。

回答：早急に周知、広報等を進めて参りたいと考えます。

質問：説明の中で、市内の出生数が減っており、少子化が顕著であるとのことですが、本市の少子化対策についてはいかがですか。

回答：出生数の減少は全国的なものでありますが、本市としては、保育料や給食費の完全無償化、放課後児童クラブでの長期休業中の昼食提供など、魅力ある子育て施策を今後継続して展開することにより、本市の出生数の減少率を緩やかにできるよう、あわよくば出生数を上げられるよう、これからも施策の充実に努めて参ります。

質問：吉野川市には、こどもが遊べる公園が平地（住宅地近隣）には非常に少ないと思います。公園は、山間部など、遠くに行かなければ無いというのが現状です。日々の、普段の散歩の途中であるとか、自転車で行けるような場所にこそ公園は必要だと思います。

これはお願いを含めた意見になりますが、今ある資源を活用するという考え方において、旧西麻植幼稚園には遊具があるので、園庭を公園として解放してはどうでしょうか。あるいは、日本フネン市民プラザ西側のポケットパークは、月に一度程度イベントに使用しているだけですので、安全対策で柵を設置し（交通量の多い道路に面しているため）、移動遊具（鴨島かもめこども園にあるような）を設置するなどして、普段は公園として活用できるようにしてはいかがでしょうか。

回答：こどもが遊ぶことのできる公園への希望は多く寄せられています。ご提案の旧西麻植幼稚園は、現在閉所された施設であることから、施設管理を行う職員やこどもを見守る職員がいないため、こどもが安全に利用できる施設かどうか。また、園庭に設置されたままの遊具については、遊具の耐用年数を超えていないかなど十分に確認する必要がある、この場ではその是非についてお答えすることはできません。

また、ポケットパークについては、ご指摘のとおり、大きな交差点内にあり道路に面しているため、小さな子どもが遊ぶには柵がなければ危険であると思われます。こちらにつきましても、施設所管課との相談になりますので、この場ではお答えすることは難しいですが、本日いただきましたご意見は、所管課へ必ず伝えさせていただきます。ありがとうございます。

意見：安心安全な放課後児童クラブの運営の観点から、放課後児童クラブの職員配置について申し上げたいと思います。事務処理がクラブの職員（支援員）の負担になっており、事務員を置くことで、職員が子どもの支援に多くの時間を使えるようになると思います。ぜひご検討いただけますようお願いします。

質問：妊婦への相談支援の場や、離乳食づくりの講習の場など、こどもの母親と会える機会に、保健師とともに主任児童員が同席し、妊産婦を地域でサポートする主任児童員がいるということを知ってもらいたいと考えています。そして、主任児童員が地域で母親を支える役割を果たせればと考えますがいかがでしょうか。

回答：相談支援や講習等の状況等を確認し、検討いたします。

質問：ネグレクトや暴力などの虐待によって死亡する事例が全国で多発していることから、それらを未然に防ぐことができるよう、できるだけ訪問し、養育の実態を把握することが必要だと考えています。妊婦健診やこんにちは赤ちゃん訪問事業の受診実績について説明をお願いします。

回答：妊婦健診の受診状況は、病院から送付される健診結果によって確認しています。

ただ、病院での健診時に医療が必要になった場合は保険診療の対象になるため、市の健康推進課に健診結果が届きません。この場合は、出産に至る経緯・状況について必ず訪問時などに確認しています。

こんにちは赤ちゃん訪問事業は、全戸訪問が原則であるため、連絡をとり訪問するようにしており、ほぼ100パーセント訪問できています。ただ、諸事情により訪問ができなかった場合は、やむを得ず包括支援センターで面談を行うことも年間1～2件程度あります。仰るように、養育実態を知る観点から、吉野川市では必ず全数と面談することとしています。

質問：医療的ケア児のこども園への受け入れについて、吉野川市も行う予定はありますか。また、受け入れる場合の体制や環境整備（施設の改修などの有無）について説明をお願いします。

回答：来年度は1名の医療的ケア児の受け入れを予定しております。受け入れの体制については、保育士1名と医療資格者1名で対応いたします。また、受け入れ施設に関しては、今回は改修等は必要ございません。

質問：かなり深刻な少子化ということだが、回復の兆しは見られるのでしょうか。

回答：徳島県が人口移動調査年報で公表した令和5年中の本市の出生数は162名であり、妊娠届については、同時期と比べて30名以上減っており、回復の兆しは見られない状況です。

質問：こどもの安心安全を守る環境として、児童館を含め子育て支援に関わる施設はどこも人材不足に苦慮しています。保育士など、有資格者の人材バンクがあれば大変ありがたいです。市役所や社会福祉協議会などで、そういった登録制度を行ってもらえないでしょうか。

回答：子育て支援の関連施設が人材の不足に苦慮している現状は把握しています。いただいた意見については、他市等の事例を確認の上で研究させていただきたいと存じます。

4. 閉会